

# 日本経済政策学会ニューズレター

No. 3

1989

## 目 次

◎会長あいさつ……………	1	◎会員状況……………	11
◎退任あいさつ……………	2	◎新入会員……………	15
◎総会議事録……………	4	◎決算・予算……………	18
◎会長会務報告……………	5	◎全国大会・部会大会ご案内……………	22
◎新役員……………	6	◎事務局移転のお知らせ……………	23

### ごあいさつ

会長 柏 崎 利之輔

このたび常務理事の先生方のご推挙により会長に選出され、大役を仰せつかることになりました。まことに身の引き締まる思いでございます。

当学会は、昭和15年の創立以来、半世紀にわたり輝かしい伝統を築きあげ、今日では会員数1,100人を超す大規模な学会になっております。その間、当学会はそれぞれの時代の課題について、広い視野に立った多角的考察を基礎として、実践的な経済政策の策定に指針を提供してきたばかりでなく、経済政策に関する方法論や基礎理論の発展にも寄与して参りました。

思えば、今世紀の世界は、2つの大戦をはじめとする種々な要因によって、大きな変容を遂げて参りました。その中であって、今日わが国が国内的にも対外的にも対処せねばならない政策課題は数多く存在しますが、そこには従来にはなかった新しい型の課題も含まれております。そこで、20世紀最後の10年の問題を的確に分析し、それに対応した適切な処方を示すことが、当面の重要な課題であると存じます。

今後、歴代の会長が築いてこられた基盤の上に立って、当学会の発展のために微力をつくす所存であります。この機会に会員各位に対しまして、暖かいご支援・ご鞭撻を賜りますよう、お願い申し上げます。

---

## 任期満了のごあいさつ

藤 井 隆

私が会長に就任してからのこの三年間は、日本の経済にとっても、経済政策学という意味においても、また学会としても、一つの大きな転換の時期でありました。

日本の経済は、過去100年を超えるキャッチアップの時代、つまりひたすら自国の発展を求めての経済運営に腐心した時代から、各国の対外政策の付き合い合わせの中で、摩擦にもまれながら発展の道を模索した短い時代を経て、世界経済の運営に対して、貢献しながらその発展の中に自国の進む道をきり拓いていかななくてはならない新しい時代に至りました。

私共の経済政策学も、自らの経済運営の経験の中から、輸入学問としての歴史をこえて、日本の現実の必要の中から自生した学問として確立するというだけでなく、それを世界経済の運営に生きる経済政策学として、止揚していかななくてはならない段階に到達しておりました。

加えて、わが学会40周年の記念事業を完結しなくてはならない時期にあたっておりました。

このような、政策史の上からも、また学説史の上からも、学会史の上からも、重要な時期に会長職を務めさせていただいたことは、一人の政策学者としてこれに勝る喜びはありません。

幸い、会員皆様のご指導とご協力によりまして、一昨年は記念事業としての専門部会の行事を完了、昨年は記念出版事業として、『経済政策学の誕生』『経済政策学の発展』の二冊を刊行することができました。これらの書物は、わが学会がこの重要な転機である学会40年の節目にあたり、改めて日本の経済政策学の誕生を内外へ宣言し、その発展を期する学会であることを表明したものでありました。

わが学会は、その歴史の中で日本の経済政策にかかわる多くの学会の母胎となってきたのでありますが、昨年の大会は戦後40年の経済政策の回顧と展望として、「経済政策の転機と争点」という共通テーマで開催いたしました。詳細はお手元の年報の通りですが、日本学術会議の協力も得て、これら十指にあまる関係学会の方々もご招待して共に祝っていただきました。書物の方も国内ばかりでなく、広く海外の日本経済研究者に頒布、献本をいたしました。

現実の日本経済の発展が、その経済政策学的成功とみられていることでもあります。日本が「経済政策学を学びに行く国」として、北欧が「社会保障の国」という以上に広く世

---

界の学界から認められていることを、改めて知りました。

会長としてこんな嬉しいことはございません。今はなき諸先輩に対しても、また皆様に対しても心からお礼を申し上げますと共に、ご一緒に喜びたいと思います。

わが学会は、一つの大きな時代を乗り越えて、新しい時代へ、世界の経済政策学への止揚へむけて、その第一歩を踏み出したのであります。

いまその時代を迎えて、学会のプログラム委員会が「ボーダーレス・エコノミーの経済政策」を共通論題として選んで下さいましたことは、会長任期を終えるものへの最高のはなむけとして、感謝に耐えないところであります。

わが学会の発展は、日本経済と共に発展する。その日本経済が、世界経済の発展の中にその発展を求めなくてはならなくなった。この現実、わが学会、日本の経済政策学もまたボーダーレスに発展するであろう。いまわが学会は新しい方向をもちました。

こう考えます時、覇権をもたない日本が世界にその責任を果たす方法は、わが学会の経済政策学の発展によって、世界の経済システムを、世界の経済活動を、いかに活性化するかにかかっています。諸国民の福祉を越えて世界に信頼社会のネットワークを形成する経済政策の確立がその目標です。日本人は新しい世界システムを所有も支配もしないが、常に人類社会をオーガナイズし、活性化したいといわれたいものであります。

その研究の責任学会こそわが学会であるという意味において、次の会長の指導のもとに、皆さまと一緒に学会の発展を期したいと思います。

この三年間まことに有難うございました。副会長、各委員長、学会本部のスタッフにかわって、お礼を申し上げ退任のご挨拶といたします。

---

# 日本経済政策学会総会議事録

平成元年 5月27日

場所：青山学院大学総研ビル 12階大会議室 13:40-14:30

1. 総会議長選出 野尻武敏副会長

2. 報告事項

(1) 会長会務報告

藤井隆会長より、全国大会・役員選挙結果等会務および学外の対外活動について、別紙のような報告があった。

(2) 本部会務報告

横井弘美常務理事より、会員状況および本部事務について報告があった。

(3) 各委員会報告

(i) 組織委員会

吉田徳三郎委員長より、役員選挙手続きが終了したことおよび日本学術会議経済政策研究連絡委員会主催シンポジウム（平成元年12月1日開催予定）に、報告者として加藤寛常務理事と丹羽春喜理事を推薦するとの報告があった。

(ii) 出版編集委員会

近江谷幸一委員長より、学会年報37号が出来上がったこと、および書評選考委員会の推薦により書評文献として、奥野信宏「公共経済」（東洋経済）、高木保興「発展途上国の経済分析」（東洋経済）、宮下国生「海運」（晃洋書房）の、三編を取り上げたい旨報告があった。また、年報掲載論文のうち海外の文献に引用されたことがあれば、その点数と雑誌名を知らせてほしいとの要請があった。

(4) 各部会報告

各部会（関東—加藤寿延、中部—梅下隆芳、関西—西田稔、西日本—今泉博国）から部会報告があった。

3. 協議事項

(1) 新入会員承認の件（別紙参照）

(2) 名誉会員推薦の件

藤井隆会長より、小島清国際基督教大学教授、小松雅雄早稲田大学教授および中村秀一郎多摩大学教授が推薦され、承認した。

---

(3) 決算の件

山田健治幹事より、昭和63年度決算および名簿作成・役員選出関係会費決算について説明があり、承認した。

(4) 選挙結果承認の件

藤井隆会長より、役員選挙結果に基づく常務理事及び機関推薦による理事構成案について説明があり、これを承認した。

ここで、新常務理事会が成立したのでその開催のため、一時休憩。5分後に再開。

藤井隆前会長より、新常務理事会の互選により柏崎利之輔前副会長が新会長に選出されたとして、新会長の紹介があった。引き続き、新会長の挨拶があり別紙のような新役員の紹介があった。このあと残る議案の審議に入った。

(5) 予算の件

山田健治幹事より、平成元年度予算案について説明があり、これを承認した。なおこれに関連して常務理事会では、大会費が少なすぎるので会費の改定を考える時期にきているのではないかとの意見がでて、今後の検討課題とすることになったとの補足説明があった。

(6) 明年度大会の件

明年度大会は同志社大学で開催されることになった。

以上

## 会長会務報告

### 年次会務報告

#### I 会務

1. 大会 第45回大会（名古屋大学）の完了  
第46回大会（青山学院大学）進行中

2. 記念事業

- (1) 出版事業 『経済政策学の誕生』『経済政策学の発展』 完了

---

学会引受800部ほぼ完売

- (2) 40周年出版祝賀会 完了
3. 年報 第37号配布
4. 役員選挙結果報告

## II 学会の対外活動について

- (1) ISSC 国際社会科学協議会  
1988年12月バロセロナ総会いらい地球環境の変化と人間及び人間社会の進化(HDGC)の關係の国際会議が各地で開催されている。
- (2) IFSSO 国際社会科学団体連盟  
1989年10月2-7日 東京で第9回大会が開催される。  
テーマ 「変容する世界の学術政策」
- (3) IEA 国際経済学協会  
1989年8月ギリシャのアテネで第9回大会が開催される。
- (4) 日本学術会議  
第14期会員 加藤 寛、 五井一雄、 藤井 隆  
経済政策学研究連絡委員会 吉田徳三郎(幹事)、 柏崎利之輔(委員)  
地域経済体制研究連絡委員会 宮城辰男、 岩城 剛、
- (5) 日本経済学会連合 藤井 隆(理事)、 小松雅雄(評議員)  
碓井 尊(編集委員)
- (6) 文部省学術審議会 尾上久雄(委員)
- (7) その他 新野幸次郎(国大協)、 伊東正則(私学協)

## 新 役 員

名誉会員・役員

## 歴代会長

山中篤太郎 (代表理事)	加藤 寛(初代会長)
新野幸次郎 (第二代会長)	藤井 隆(第三代会長)

名誉会員

---

---

板垣 與一      伊東 岱吉      小島 清      小松 雅雄      氣賀 健三  
熊谷 尚夫      田村 泰夫      中村秀一郎      藤井 茂      松尾 弘  
磯部 喜一(S.62年逝去)      梅田 政勝(S.62年逝去)      藤田 敬三(S.60年逝去)

会 長

柏崎利之輔

副 会 長

伊東 正則      越後 和典      丸尾 直美

委員会委員長

組織委員長      吉田徳三郎

出版・編集委員長      近江谷幸一

国際交流委員長      加藤 寿延

常務理事

< 関東部会 >

植草 益      近江谷幸一      柏崎利之輔      加藤 寛      加藤 寿延  
五井 一雄      佐藤 芳雄      清水 嘉治      西野 萬里      原 豊  
正村 公宏      丸尾 直美      水野 朝夫      吉田徳三郎      (計14名)

< 中部部会 >

藤井 隆      横井 弘美      (計 2 名)

< 関西部会 >

伊東 光晴      越後 和典      尾上 久雄      小西 唯雄      鈴木多加史  
新野幸次郎      野尻 武敏      野間 俊威      (計 8 名)

< 西日本部会 >

伊東 正則      (計 1 名)

会計監事

高柳 暁      外池 正治      (計 2 名)

理 事

---

<関東部会>

原 豊(青山学院大)	大木金次郎(青山学院大)	大谷登士雄(青山学院大)
石井 敏(桜美林大)	外山 正夫(亜細亜大)	藤田 至孝(亜細亜大)
楠田 義(関東学園大)	石川 博友(神奈川大)	富山 和夫(関東学院大)
矢内 勝(慶応大)	佐藤 武男(関東学園大)	尾城太郎丸(慶応大)
小林 毅(城西大)	石井 啓雄(駒沢大)	石 南國(城西大)
大西 昭(創価大)	鶴田 俊正(専修大)	正村 公宏(専修大)
小松 憲治(千葉大)	鬼丸 豊隆(大東文化大)	長谷川秀男(高崎経済大)
笹本彌太郎(千葉商科大)	影山 喜一(千葉商科大)	小林 惟司(千葉商科大)
村田喜代治(中央大)	藤野 志朗(中央大)	水野 朝夫(中央大)
佐原 洋(東海大)	碓井 尊(筑波大)	今井 勝郎(帝京大)
大川 政三(東京国際大)	永山 泰彦(東海大)	増田 祐司(東京経済大)
赤沢 昭三(東北学院大)	剣持 通夫(東洋大)	小苺米清弘(東洋大)
中山 金治(日大)	井手 生(日大)	内藤 英憲(日大)
大沼 成男(北海道学院大)	福島 久一(日大)	小野 旭(一橋大)
鈴木 徹三(法政大)	増田 寿男(法政大)	畑井 義隆(明治学院大)
後藤昭八郎(明治大)	白石 四郎(明治大)	野田 稔(明治大)
井上 周八(立教大)	田中 駒男(早稲田大)	田村 正勝(早稲田大)
和田 禎一(早稲田大)		(計52名)

<中部部会>

前田敬四郎(金沢大)	吉田 良生(朝日大)	小野 義彦(岐阜経済大)
宮坂 正治(信州大)	上原 信博(静岡大)	渡辺 行郎(愛知教育大)
妙見 孟(名古屋市立大)	沈 晚燮(中京大)	斉藤 莫(愛知学院大)
松浦 茂治(愛知学院大)	横井 弘美(名古屋学院大)	中込 武雄(名古屋経済大)
南 毅(名古屋商科大)	有田 辰男(名城大)	杉山 俊治(南山大)
松山 昌司(南山大)	寺本 博美(松阪大)	渡辺 悌爾(三重大)
稲毛 満春(名古屋大)	滝沢菊太郎(名古屋大)	(計20名)

<関西部会>

喜田栄次郎(岡山商科大)	篠崎 敏雄(香川大)	青野 勝広(松山大)
--------------	------------	------------

---



---

小牧 聖徳(立命館大)	岩田 裕(高知大)	岡澤 宏(大阪学院大)
岡本 正(大阪経済大)	宇野 耕治(大阪産業大)	大川 勉(大阪市立大)
星川 順一(大阪市立大)	塩田 真典(大阪商業大)	上村 雄彦(大阪府立大)
佐藤 浩一(大阪府立大)	遠山 嘉博(追手門学院大)	坂井 昭夫(関西大)
佐藤 博(関西大)	金子 精司(関西学院大)	縄田栄次郎(関西学院大)
植田 和弘(京都大)	菊川 貞己(京都産業大)	丹羽 春喜(京都産業大)
後藤 文利(近畿大)	桜井 等至(近畿大)	綿谷禎二郎(近畿大)
大野喜久之輔(神戸大)	新庄 浩二(神戸大)	村上 敦(神戸大)
岡本 隆(神戸学院大)	松代 和郎(神戸商科大)	郡鳥 孝(同志社大)
榊原 朕夫(同志社大)	笹田友三郎(同志社大)	櫛本 功(広島大)
厚母 浩(広島経済大)	百々 和(広島経済大)	日隈 健壬(広島修道大)
庄谷 邦幸(桃山学院大)		(計37名)

<西日本部会>

中村 長哉(福岡女子短大)	杉野 元亮(九州共立大)	安部 一成(山口大)
五十嵐副夫(大分大)	高良 有政(沖縄大)	原田三喜雄(西南学院大)
相原 陽(九州産業大)	施 昭雄(福岡大)	本吉 敬治(福岡大)
宮城 辰夫(沖縄国際大)	高橋 良宣(鹿児島経済大)	山里 将晃(琉球大)
高瀬 泰之(熊本商科大)		(計13名)

本部幹事

<関東部会>

鶴野 公郎(筑波大)	大村 達弥(慶応大)	上沼 正明(早稲田大)
川野辺裕幸(東海大)	吉家 清次(専修大)	黒川 和美(法政大)
小苺米清弘(東洋大)	鈴木 守(東海大)	田村 正勝(早稲田大)
中野 守(中央大)	福島 久一(日大)	(計11名)

<中部部会>

梅下 隆芳(愛知教育大)	皆川 正(名古屋大)	荒山 裕行(名古屋大)
--------------	------------	-------------

---

---

酒井 邦雄(愛知学院大) (足立文彦 名古屋大) (計4名)

<関西部会>

櫛本 功(広島大) 木村雄二郎(関西大) 郡鳥 孝(同志社大)  
土井 教之(関西学院大) 西田 稔(関西学院大) 箱田 昌平(近畿大)  
丸谷 冷史(神戸大) 若林 洋夫(立命館大) (計8名)

<西日本部会>

大城 保(沖縄国際大) 杉野 元亮(九州共立大) 高橋 良宣(鹿児島経済大)  
藪田 雅弘(福岡大) (計4名)

部会幹事

<関東部会>

伊藤 公一(千葉商科大) 植村 利男(亜細亜大) 熊谷 彰矩(青山学院大)  
関谷 登(東北学院大) 福宮 賢一(明治大) 三宅 忠和(日大)  
矢坂 雅光(東京大) 横山 彰(城西大) 米澤 義衛(青山学院大)  
(計9名)

<中部部会>

大西 幹弘(名城大) 牧野 香三(名古屋経済大) 足立 文彦(名古屋大)  
小林 甲一(名古屋学院大) 小山 直樹(名古屋市立大) (計5名)

<関西部会>

明石 芳彦(大阪市立大) 田中 康秀(神戸大) 長屋 泰昭(大阪府立大)  
山本 尚一(香川大) 吉沢 昌恭(広島経済大) (計5名)

<西日本部会>

今泉 博国(福岡大) 佐々木正廣(第一経済大) 末長 勝昭(九州共立大)  
(計3名)

学会事務所

---

本 部 〒169 東京都新宿区西早稲田1-6-1 早稲田大学内 03-203-4141  
 (柏崎利之輔)  
 振替口座 東京2-167201  
 銀行口座第一勧業銀行早稲田支店 普通1525300

関東部会 〒108 東京都港区三田2-15-45 慶応義塾大学内 03-453-4511  
 (加藤 寛)

中部部会 〒464 名古屋市千種区不老町1 名古屋大学内(藤井 隆) 052-781-5111

関西部会 〒657 神戸市灘区六甲台町 神戸大学内 (新野幸次郎) 078-881-1212

西日本部会 〒807 北九州市八幡西区自由が丘 九州共立大学内 093-691-3331  
 (伊東 正則)

## 会 員 状 況

(平成元年5月15日現在)

### 1. 会員数

	関 東	中 部	関 西	西日本	海 外	計
個人会員	551	145	332	100	3	1,131
団体会員	1	2	0	0	0	3
計	552	147	332	100	3	1,134

### 2. 異動会員

#### 訃 報

北野 熊喜男 佐藤 元重 佐橋 義金 関場 保  
 竹本 司朗 福島 康治 古米 淑郎 宮川 武雄  
 三宅 輝男 宮下 武平

#### 退 会 者

伊藤 喜栄 木村 正身 キョウミントン 小林 義雄  
 佐藤 克己 玉置 正美 出水 宏一 中島 邦蔵  
 藤沢 武史 堀井 健三 三輪 隆夫  
 自然退会

有賀文夫	井上和雄	置塩信雄	奥村 栄
影山哲夫	木村邦三	久場政彦	久保俊郎
熊沢 孝	後藤純一	佐藤 誠	塩原英雄
篠原 総一	下地玄栄	島津秀典	新改和人
高橋房二	立入広太郎	谷 雄一郎	辻 哲志
南部鶴彦	本山美彦	森田行夫	安田元三

所属変更者 (新所属機関)

秋元 明(新潟産業大学)	青木俊介(国士館大学)
足立文彦(名古屋大学)	今井良夫(防衛研究所)
鶴川多加史(大東文化大学)	大里仁士(九州国際大学)
大城 肇(琉球大学)	太田和男(太陽神戸総合研究所)
大津寄勝典(中国短期大学)	加藤 孝(白鷗大学)
角本伸晃(高岡法科大学)	紙屋英男(高崎商科短期大学)
北嶋健一(松山大学)	末長勝昭(九州共立大学)
杉岡 碩夫(独協大学)	鈴木 博(北海学園北見大学)
田中 則仁(神奈川大学)	仲上健一(立命館大学)
中村秀一郎(多摩大学)	永合位行(姫路独協大学)
西田 稔(関西学院大学)	仁部新一(九州共立大学)
野本健作(九州共立大学)	藤田 晴(近畿大学)
堀江忠男(大月短期大学)	松本保美(大阪国際大学)
宮坂正治(中京大学)	八幡一秀(作新学院大学)
家森信治(姫路独協大学)	吉野文雄(高崎経済大学)
若井具宜(広島県立大学)	若杉隆平(通産省)

平成元年度 新入会員名簿

氏名	所属	推薦者
浅田 和史	立命館大学	小藤 聖徳 牧井 隆
有吉 範敏	九州共立大学	伊今 東正 今泉 博
池田 浩史	早稲田大学	柏田 崎利 中駒 之輔
伊予田 光彦	桃山学院大学	庄谷 邦幸 津田 直則
植村 博恭	茨城大学	伊東 岱吉 影山 一博
エリック・D・ラムステッター	関西大学	佐藤 谷基 守谷 博明
遠藤 哲広	九州共立大学	伊東 正元 杉野 則亮
大住 栄治	青山学院大学	原谷 彰 熊谷 豊矩
大住 圭介	青山学院大学	原谷 彰 熊谷 豊矩
荻野 道雄	亜細亜大学	加藤 寿延 外山 夫徳
奥地 正	立命館大学	小藤 聖徳 米井 隆
掛江 正造	福山大学	米井 花井 川井 稔悟
菊池 裕子	九州共立大学	伊東 正元 杉野 則亮
木南 章	三重大学	浦城 晋一 渡辺 爾隆
冠 龍華	台湾大学	藤井 弘美 横井 昭八郎
小熊 和雄	明治大学	後藤 文隆 中村 隆史
小槻 直史	近畿大学	鈴木 多加 箱田 昌平

小松弘明	阪南大学
小山直樹	名古屋市立大学
境章	折尾女子経済短期大学
佐藤正志	九州共立大学
鳴村紘輝	早稲田大学
清水勝	近畿大学
清光照夫	明星大学
武田巧	明治大学
武田文祥	千葉商科大学
田中幸雄	広島市役所
玉城逸彦	(株)住信基礎研究所
沈徹	愛知大学
鶴岡詳晃	千葉経済大学
程野真	九州共立大学
手塚真	国立国会図書館
寺村泰	静岡岡大学
徳田賢二	専修大学
土井泰彦	九州共立大学
土門晃二	早稲田大学

野間俊威	前野富士生
妙梅	見下隆孟芳
伊杉	東野正元則亮
伊杉	東野正元則亮
柏崎利之輔	松原昭
鈴木多加史	箱田昌平
加山藤健寛治	後藤昭八郎
中笹影彌太郎	本山禧一
櫟松征夫	小林本三治
小岡	沈藤丸今伊杉藤横上梅中鶴伊杉柏田
井尾直良美夫	井東野井井弘信隆秀一郎
晚變隆美夫	井東野井井弘信隆秀一郎
正元則亮	井東野井井弘信隆秀一郎
隆美博芳	井東野井井弘信隆秀一郎
正則亮	井東野井井弘信隆秀一郎
利之輔	井東野井井弘信隆秀一郎
男	井東野井井弘信隆秀一郎

長崎健一	九州共立大学
永野仁	雇用職業総合
中村和浩	亜細亜大学
仲村隆文	九州共立大学
西山賢一	京都大学
熨斗隆文	神奈川大学
箱木真澄	福島大学
松川周二	立命館大学
三島万里	国民経済研究会
宮平栄治	明治大学
矢坂雅充	東京大学
谷沢弘毅	（株）住信 基礎研究所
山下英次	大阪市立大学
山田榮作	関東学園大学
山田浩貴	名城大学
吉沢清	日本大学
吉田雅彦	中央大学

伊杉大原加石	東野谷藤	正元登士	則亮雄豊延国
伊杉植小	東野田林	正元和正	則亮弘人
大長香新小藤中鶴後中植加藤横星神儀佐有大吉石五丸	林沢川野牧井村田藤村草藤井井川野我藤田西田村井尾	弘正敏幸次郎聖秀俊昭文弘順直壯武辰幹德暢一	道男幸次郎德隆一郎正隆益寛隆美一彦一郎男弘三郎雄美

日本経済政策学会

収		入	
摘	要	予算額 (63年)	決算額 (63年)
62年度よりの繰越金		3,855,981	3,855,981
内訳	〔年報回転基金 予備費	内訳 〔1,500,000 2,355,981	内訳 〔1,500,000 2,355,981
会費		4,858,000	5,292,700
内訳	〔団体 個人	内訳 〔90,000 4,768,000	内訳 〔90,000 5,202,700
出版研究助成金		400,000	400,000
名簿・選挙費用積立金繰り入れ金		705,950	724,444
収入利息		150,000	134,789
総	計	9,969,931	10,407,914

上記の通り相違ないことを確認いたしました。



# 昭和63年度決算書

昭和63. 4. 1 ~ 平成元年 3. 31

単位 円

支		出	
摘 要	予算額 (63年)	決算額 (63年)	
大会費 (昭和63年度)	1,050,000	1,050,000	
部会費	340,000	340,000	
内訳	内訳	内訳	
┌ 関東部会	┌ 100,00	┌ 100,000	
├ 中部部会	├ 70,000	├ 70,000	
├ 関西部会	├ 100,000	├ 100,000	
└ 西日本部会	└ 70,000	└ 70,000	
委員会費	257,000	139,670	
内訳	内訳	内訳	
┌ 組織委員会	┌ 50,000	┌ 50,000	
├ 国際交流委員会	├ 50,000	├ 50,000	
├ 出版・編集委員会	├ 157,000	├ 39,670	
├ (内訳) 書評委員会	├ (内訳) 12,000	├ (内訳) 0	
└ レフェリー制諸費	└ 145,000	└ 39,670	
年報刊行費	3,406,000	3,413,850	
内訳	内訳	内訳	
┌ 勁草出版支払	┌ 3,256,000	┌ 3,343,850	
├ 年報編集事務費	├ 100,000	├ 70,000	
└ 年報研究費	└ 50,000	└ 0	
学術会議研究連絡費	20,000	20,000	
学会連合分担金	30,000	30,000	
本部事務諸費	1,520,000	821,310	
内訳	内訳	内訳	
┌ 事務諸費	┌ 750,000	┌ 437,760	
├ 印刷費	├ 350,000	├ 147,780	
├ 通信費	├ 350,000	├ 186,840	
└ 会議費	└ 70,000	└ 48,930	
名簿・選挙費用	1,300,000	1,084,563	
小 計	7,923,000	6,899,393	
平成元年度への繰越金	2,046,931	3,508,521	
内訳	内訳	内訳	
┌ 年報回転基金	┌ 1,500,000	┌ 1,500,000	
└ 予備費	└ 546,931	└ 2,008,521	
総 計	9,969,931	10,407,914	

平成元年 4 月 26 日

監 事 高 柳 暁 印

外 池 正 治 印

## 名簿作成・役員選出関係会計決算書

(昭和63年度)

(単位 円)

摘 要	収 入		支 出	
	予 算	決 算	予 算	決 算
本部より	1,300,000			
内訳 { S. 61年度積立	{ 350,000	1,084,563		
内訳 { S. 62年度積立	{ 350,000			
内訳 { S. 63年度支出	{ 600,000			
会員名簿作成費			600,000	474,027
内訳 { 名簿印刷費			{ 550,000	{ 432,000
内訳 { 名簿作成事務費			{ 50,000	{ 42,027
名簿郵送費			380,000	298,020
内訳 { 郵 税			{ 320,000	{ 268,020
内訳 { そ の 他			{ 60,000	{ 30,000
印 刷 費			50,000	35,800
通 信 費			60,000	55,202
常務理事選任会議費			210,000	221,514
内訳 { 交 通 費			{ 180,000	{ 187,600
内訳 { そ の 他			{ 30,000	{ 33,914
総 計	1,300,000	1,084,563	1,300,000	1,084,563

上記の通り相違ないことを確認いたしました。 平成元年4月26日

監 事 高 柳 暁 印

外 池 正 治 印

日本経済政策学会 平成元年度予算書

平成元年4. 1~2. 3. 31

収 入 予 算		支 出 予 算	
63年度よりの繰越金	3,508,521	大会費(2年度)	1,050,000
内〔年報回転基金	〔1,500,000	部会費	340,000
〔予備費	〔2,008,521	〔関東部会	〔100,000
		〔中部部会	〔70,000
		〔関西部会	〔100,000
		〔西日本部会	〔70,000
会 費	4,750,000	委員会費	257,000
内〔団体	〔90,000	〔組織委員会	〔50,000
(3団体×30,000)		〔国際交流委員会	〔50,000
内〔個人	〔4,660,000	〔出版編集委員会	〔157,000
((1,135人+30人)		(内訳)〔書評委員会	〔12,000
×0.8×5,000円)		〔フェリ一制諸費	〔145,000
		年報刊行費	3,350,000
		内〔勁草出版支払	〔3,200,000
		〔年報編集事務費	〔100,000
		〔年報研究費	〔50,000
出版研究助成金	400,000	学術会議研究連絡費	20,000
		学会連合分担金	30,000
		本部事務諸費	1,220,000
		〔事務諸費	〔550,000
		〔印刷費	〔300,000
		〔通信費	〔300,000
		〔会議費	〔70,000
収入利息	130,000	名簿・選挙費用積立金	350,000
		小 計	6,617,000
		2年度への繰越金	2,171,521
		内〔年報回転基金	〔1,500,000
		〔予備費	〔671,521
総 計	8,788,521	総 計	8,788,521

## 全国大会・地方大会等のご案内

### 第47回全国大会

1. 日 時 平成2年5月26日(土)、27日(日)
2. 会 場 同志社大学
3. 共通論題 「経済体制の変容」(仮題)
4. 準備委員長 野間 俊威 常務理事 (郡 孝事務局長)

### 関東部会研究会

平成2年1月20日(土)午後1:30より、常務理事・幹事会午後5:00より  
日本大学

### 中部地方大会

平成元年11月17日(金)・18日(土)

中京大学 準備委員長 沈 晩燮 TEL 052-832-2151

工場見学会(17日) 日本車両(豊川)

研究発表(18日) 中京大学

### 関西部会研究報告会

平成元年11月25日(土) 関西文化サロン(予定)

\* 共通テーマによって開催いたします。

### 西日本部会例会

今秋

熊本商科大学 準備委員長 高瀬泰之 TEL096-364-5161

---

## 本部事務局移転のお知らせ

<所在地> 〒169 東京都新宿区西早稲田 1-6-1  
早稲田大学内 日本経済政策学会  
電話 03(203)4141 内線6456 事務担当：上沼正明（火、水、木）  
FAX 03(204)8269

### <会費振込口座>

郵便振替口座 東京 2-167201  
銀行口座 第一勧業銀行早稲田支店 （普）1525300

## 西日本部会事務局移転のお知らせ

<所在地> 〒807 北九州市八幡西区自由が丘 1-8  
九州共立大学内  
電話 093-691-3331 部会代表 伊東正則、 事務担当：杉野元亮

平成元年 8 月以降

『経済政策学の誕生』『経済政策学の発展』の購入を希望される方へのお知らせ

学会が一括購入した800部は完売致しましたので、今後は送料・消費税込で、6000円でお世話をさせていただきます。

---

日本経済政策学会ニュースレター      No.3 (1989年9月)

編集発行    日本経済政策学会

〒169 東京都新宿区西早稲田 1-6-1

早稲田大学内 日本経済政策学会

電話 (03) 203-4141 (内線6456)